

## 学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般は保護者の皆様にはお忙しい中にもかかわらず学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。ここに保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましても、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

### 2016年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数 137

#### 評価の高い項目

(そう思う、だいたいそう思うの項目が90%を超えている)

- お子さんは、楽しく学校生活を送っている
- お子さんは、学校で友達と仲よくすごしている
- 「人権発表会」は、本校の特色ある教育活動として充実している。
- 学校は、生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てている。
- 先生は、お子さんの能力や努力を適正・公平に評価してくれる
- 先生は、体験したり、自分で考えたりする授業を行っている
- 学校は、相談や要望などに適切に対応してくれる
- 学校は、授業参観や行事などをよく公開してくれる
- 学校・学年・保健・給食などの便りから、児童の様子や学校の取り組みがよく伝わる。
- 地域の施設を活用したり、地域の人とかかわり合って学習したりしている
- 学校は、地震・火事・台風・不審者への対応について、子どもへの指導や保護者への連絡ができています

#### 評価の低い項目

(あまり思わない、全く思わないの項目が20%を超えている)

- お子さんは、場に応じたあいさつや言葉づかいをしている
- お子さんは、身の回りの整頓やそうじをしている
- お子さんは、読書の習慣が身についている
- お子さんは、学年に応じた基礎学力が身についている

#### アンケート結果の考察

##### 【保護者】

上記の11項目で、「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが90%以上という数値でした。このことから多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、友達と仲よく楽しく過ごしていると感じてくださっているようです。また、担任が子どもの努力や成果をしっかり認めながら、考えさせる授業展開や体験学習を取り入れ、授業参観や行事、お便り等で学校公開を行っていると感じてくださっているようです。

しかし、「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが20%を超えた項目が上記の4項目で、「身のまわりの整頓やそうじ」「読書の習慣」が昨年同様とても低い評価となっています。「学年に応じた基礎学力が身についている」の項目は、昨年度より4ポイント上がりましたが、今後の学習に大きく影響してくるものであるため、引き続き努力していく必要があります。また、いじめについては、子どもたちの学校生活を脅かす大きな問題であるため、いじめのない学校にしていくために、より組織的に取り組んでいく必要があります。

##### 【児童】

あいさつや言葉づかいの項目が大きくポイントを下げました。あいさつは、本校の生徒指導上の目標の大きな柱です。今後も取り組んでいきますので、登下校時や地域活動でもご協力をお願いいたします。また、自分の考えや意見を相手に伝える力は、将来、必ず必要となるものです。小学校段階から計画的に取り組む、子どもたちが自信をもって意思を伝えることができるようにしていきたいと思っております。

##### 【教職員】

「あいさつや言葉づかい」「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」が保護者の学校評価と同じく課題としてあげられました。これらのことを、今後の本校の教育課題として受けとめ、まずは、基本的な生活習慣の定着を図っていきたく思います。そして、基礎学力の定着、学力の向上に向けてよりいっそう努力をし、未来を拓く子どもたちを育てていきたいと思っております。また、人権教育を基盤とし、鋭い人権感覚と高い人権意識をもった子どもを育て、人権問題の解決に向けて行動できるようにと考えております。

今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。